

北辰小学校 森林教室

第1回 ~辰の子の森を探検しよう~

令和2年度に引き続き、新潟県南魚沼市立北辰小学校4年生の児童55名を対象に、「総合的な学習の時間」の一環で森林教室を実施しました。1回目の今回は、学校林である「辰の子の森」で、葉っぱから木の名前をあてるゲームや紙芝居等を通して、森林の植物観察や森林の働きや林業の学習をしました。梅雨の晴れ間で蒸し暑かったですが、暑さを吹き飛ばして元気いっぱい学習しました。

森林に入る前の注意

森林教室を楽しく過ごすために、危険な動植物を確認しておきます。

「小さいけれど危険なこの生き物を知っていますか？」

「知ってます！スズメバチ！アシナガバチ！」

「辰の子の森」のブナの葉



樹高あてクイズ

児童と森林官で、木の高さを当て比べをしました。確認は8mの測幹を当てて行います。どちらが正しく目測できたかな？

森林・林業の学習

「辰の子の森は人工林です。人工林は人の手で長く大切に育てられているんですよ。」



関東森林管理局 中越森林管理署

森林の中へGo！

森林の中は枝や葉が足元にも頭上にもあって、思っているより歩きにくいです。足元注意！頭上注意！声をかけあいながら、元気に進みます。



学校林の真ん中にあるブナの広場で、森林についての説明を受けました。「落葉樹と常緑樹の違いが分かる人はいるかな？」



葉っぱの名前探しゲーム

森林内で、樹名板のついた木をヒントに、与えられた葉っぱの名前を探すゲームをしました。良く観察して、触って、ちぎって香りをかいで、全問正解者はいるかな…!?



今回の教室で、辰の子の森から小枝などを持ち帰りました。この枝などを使って、次回の教室で“小枝えんぴつ”や、ネームプレートを作る予定です。